

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	河川事業			路線又は箇所名等		一級河川利根川水系 清水川		
事業所管課			河川整備課			事業主体		千葉県		
事業化 年 度	平成 16 年度		用地着手 年度	平成 20 年度		工事着手年度 工事終了年度	平成18年度 令和6年度	再評価の 理 由	再々評価	
費用便益比 B/C	2.4 (3.4)	総費用 (現在価値)	60.9 億円 (34.1 億円)	総便益 (現在価値)	148.2 億円 (117.2 億円)	基準年	令和 3 年度	供用開始 年度	令和 6 年度	

※上段：全体事業費 下段（ ）：残事業費

【事業概要】

(目 的)

清水川では、平成4年10月の台風18号により、銚子市街地において床上浸水29戸、床下浸水43戸の浸水被害を受けたことから、河道掘削や護岸整備、橋梁の架け替えを実施してきた。

今後も地域温暖化に伴い、増加している集中豪雨など河川への流出量の増加が見込まれることから、早急に治水安全度の向上を図る必要がある。

(主な実施内容)

清水川：事業延長 L=1,612m 工事内容：河道拡幅、河床掘削、護岸整備、橋梁架替等

【事業の進捗状況】(R3 年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全 体	54.5	15.6	38.9	28.5

【社会経済情勢等】

① 流域状況

本事業区間流域は、銚子中心部に位置し、流域全体の市街化率は平成28年頃には63%となっており、市街化の進んだ流域となっている。

また、地球温暖化に伴い増加している集中豪雨など河川への流出量の増加が見込まれることから、治水安全度の向上が急務である。氾濫区域には、銚子市街地の他、JR総武本線、国道124号、126号などの交通網を含み、水害発生等の被害、社会的影響が極めて大きい地域である。

② 主な水害状況

- ・平成4年10月20日（台風18号） 浸水戸数72戸
- ・平成8年9月22日（台風17号） 浸水戸数38戸

③ 投資効果

- ・浸水戸数 337世帯(337世帯) ・浸水面積 17ha(17ha) [裸書：全体事業、（ ）：残事業]

④ その他

- ・一級河川利根川水系 香取・銚子圏域河川整備計画の策定 H18.12.27

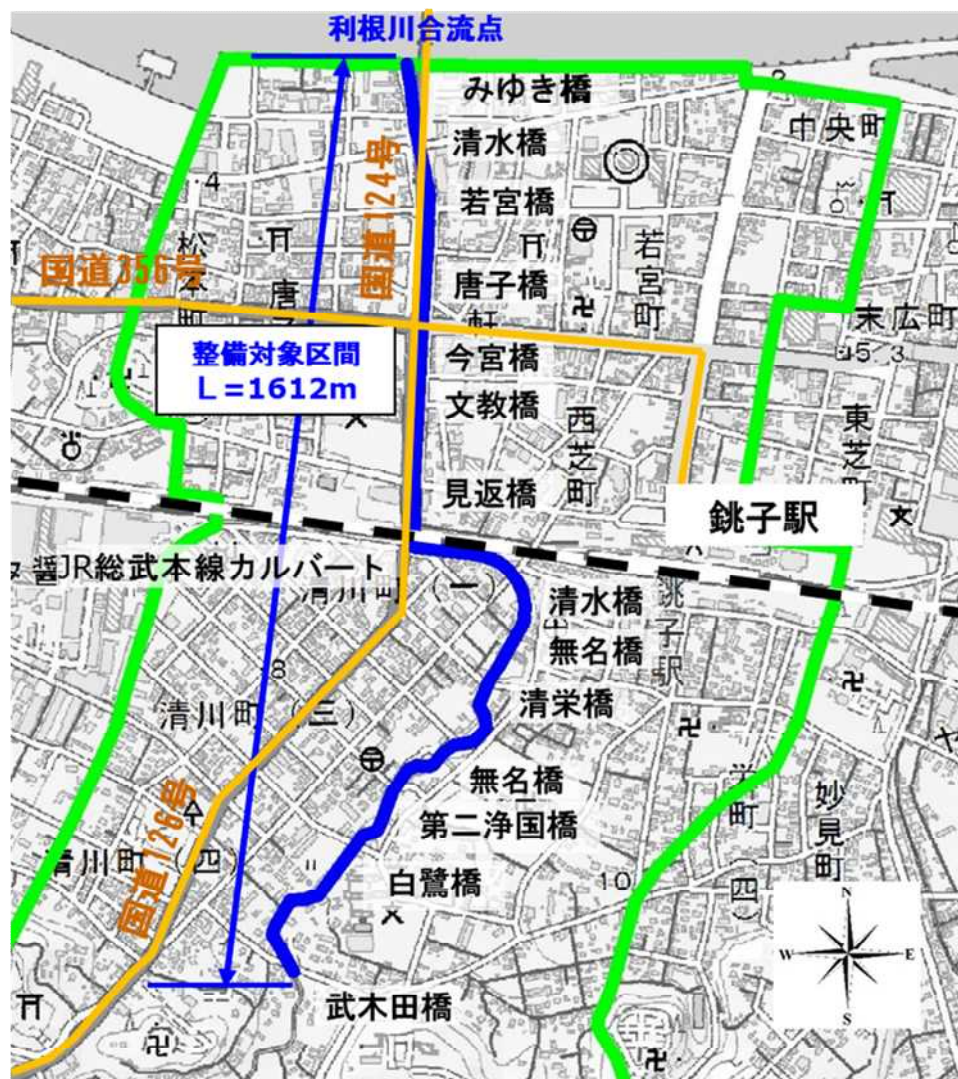
【対応方針（案）】

清水川流域では、市街化の進展により流出増が見込まれ、さらに本治水事業への地元からの要望があり、また、全体事業の費用便益（B/C）は2.4（残事業3.4）となり、事業の投資効果も見込まれることから、事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

事業概要図

番号	4	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	一級河川利根川水系 清水川
----	---	-----	------	----------	------------------

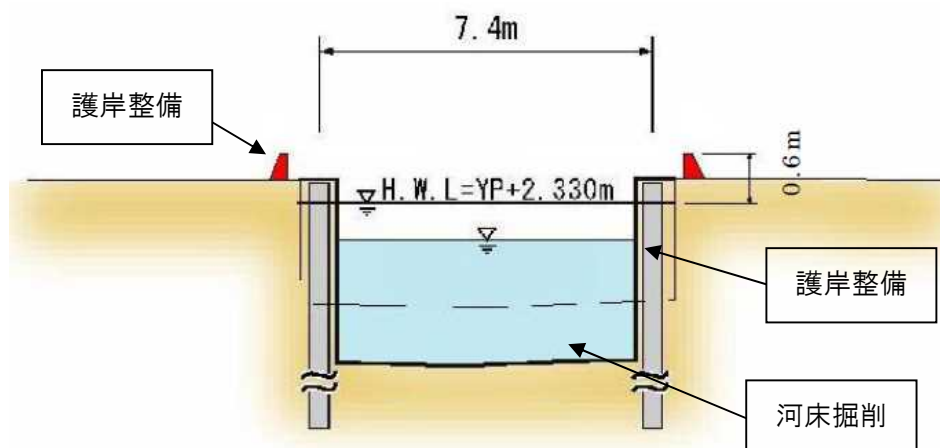
計画平面図



※電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

標準横断面図

●見返橋付近



再々評価事業に関する調書

番号	4	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	一級河川利根川水系 清水川	
事業化年度	平成 16 年度	用地着手年度	平成 20 年度	工事着手年度	平成 18 年度	

【再評価 (H28 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 28 年度	供用開始年度	平成 48 年度	対応方針	継続
B / C	1.6 [1.8]	総費用	53.9 億円 [36.5 億円]	総便益	87.6 億円 [65.7 億円]

(※上段：全体事業、下段：[]：残事業)

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
○継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H28)
事業費	54.5 億円	14.2 億円 (26.1%)
うち用地・補償費	3.8 億円	1.3 億円 (34.8%)
うち工事費	50.7 億円	12.9 億円 (25.4%)

【再々評価 (R3 年度) の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和 3 年度	供用開始年度	令和 18 年度	対応方針	継続
B / C	2.4 [3.4]	総費用	60.9 億円 [34.1 億円]	総便益	148.2 億円 [117.2 億円]

(※上段：全体事業、下段：[]：残事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (R3 末見込み)
事業費	54.5 億円	15.6 億円 (28.5%)
うち用地・補償費	3.8 億円	1.2 億円 (30.4%)
うち工事費等	50.6 億円	14.4 億円 (28.4%)

再評価後の経過及び処理状況	平成 28 年 12 月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価 (継続が妥当である)
---------------	---